

1. 路線バスの共同経営に関する取組状況

(1) 主な取組と効果

- ①重複4方面の路線再編 (令和3年4月～)
 - ・待ち時間の平準化と需給バランスの調整等を実施
 - ・熊本駅周辺の開発に合わせ熊本駅へバスを増便
 - ・収支3.3千万円改善、人員5.6人、車両4.7台 負担軽減
 - ※R3年度の実績
- ②バス共通定期券の導入 (令和4年4月～)
 - ・定期券購入区間であれば、どの会社のバスでも利用可能となる共通定期券を導入
 - ・利用者数 (+16%) や収益 (+14%) が増加
 - ※R3年とR4年 (4～9月) の実績値比
- ③県庁・健軍方面の路線再編 (令和4年11月～)
 - ・待ち時間平準化や動植物園通り等の路線維持を実施
 - ・収支2.4千万円改善、人員5人、車両4台 負担軽減
 - ※1年間実施した際の効果 (見込み)



▲共通定期 (イメージ)



▲路線再編を行った各方面の概略図

(2) 今後の主な取組

- ①定時性向上に向けたダイヤ改正
 - ・遅延等の運行実績データを活用し、バスの定時性向上を目的としたダイヤ改正の実施を検討
- ②バスの利用促進に向けた取組
 - ・マーケティング手法を用い、利用者をグループ分けし、それぞれのニーズに合った利用促進を行い、利用者を増やす取組実施

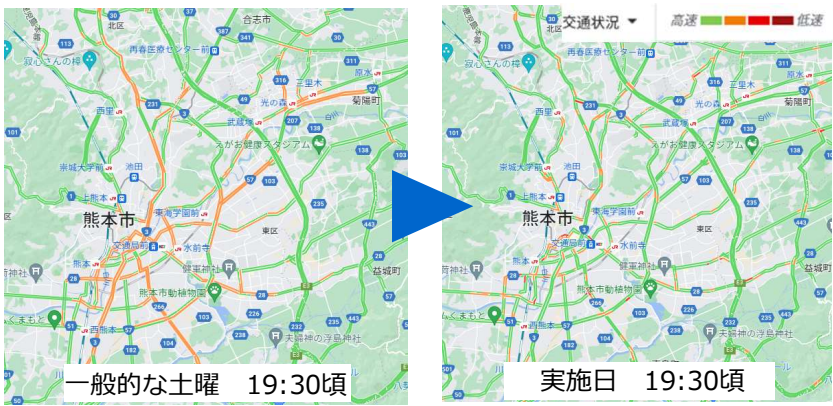
引き続き共同経営の枠組みを活用し、持続可能で利便性の高いバス路線網の構築に向けた取組を推進

2. バス・電車無料の日に関する取組状況

(1) 実施概要

- 目的
市民の皆様が公共交通を利用する“きっかけ”をつくるとともに、市内の交通渋滞の軽減を図るもの
- 事業実施日
令和4年12月24日 (土) 終日
- 無料対象路線
熊本市を一部でも通過する路線バス及び熊本電鉄電車、熊本市電の全線
※空港リムジンバスなど一部対象外路線あり
- 利用者実績
公共交通全体での利用者数は、通常時と比べて約1.5倍となった

■道路交通状況 ※出典：グーグルマップ交通状況より
市内中心部での賑わい、公共交通の利用者増の一方で、市内の交通渋滞は、多くの時間帯で通常の土曜日と比較し緩和しており、公共交通への転換による渋滞軽減効果が確認された



(2) 今後の取組

- ・次回予定は令和5年3月18日 (土)
- ・12月実施分も含め効果検証を行い、次年度以降の取組、今後の施策展開につなげていく

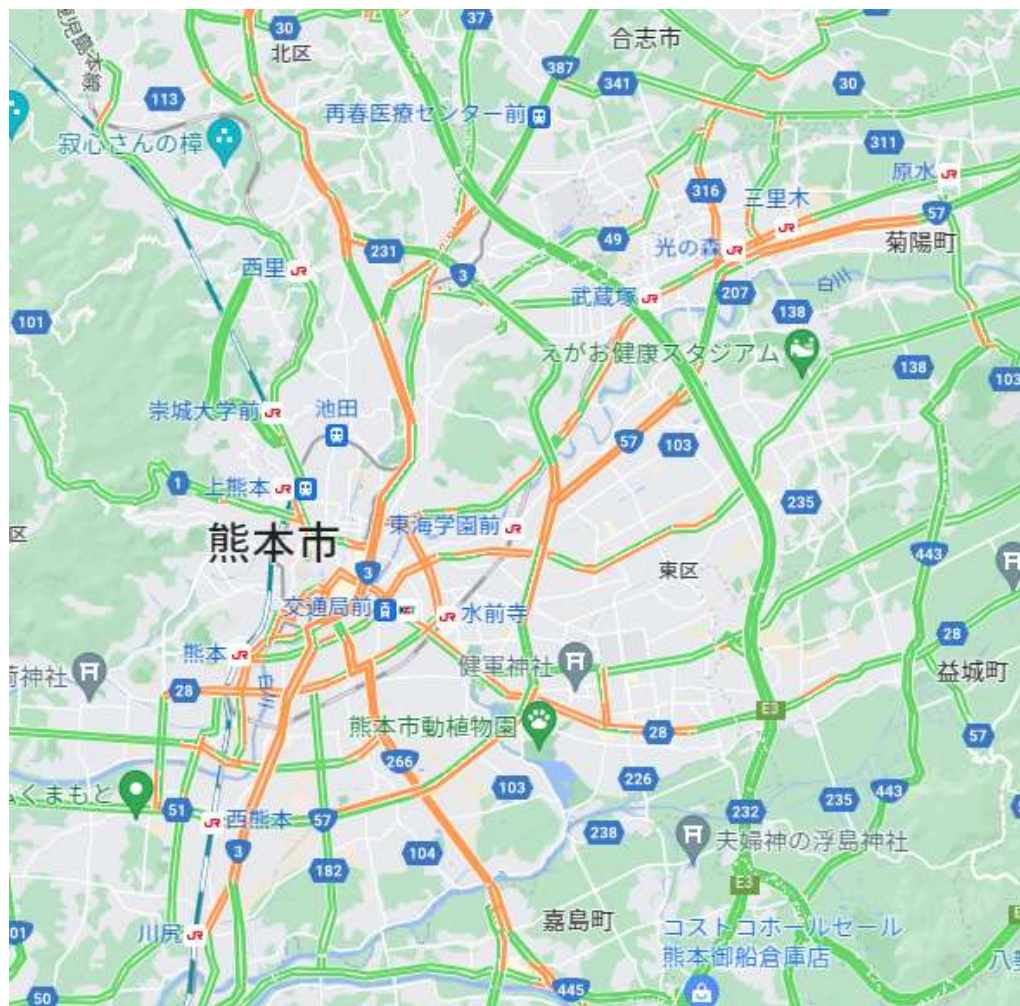
お花見日和には公共交通で！

第2弾！

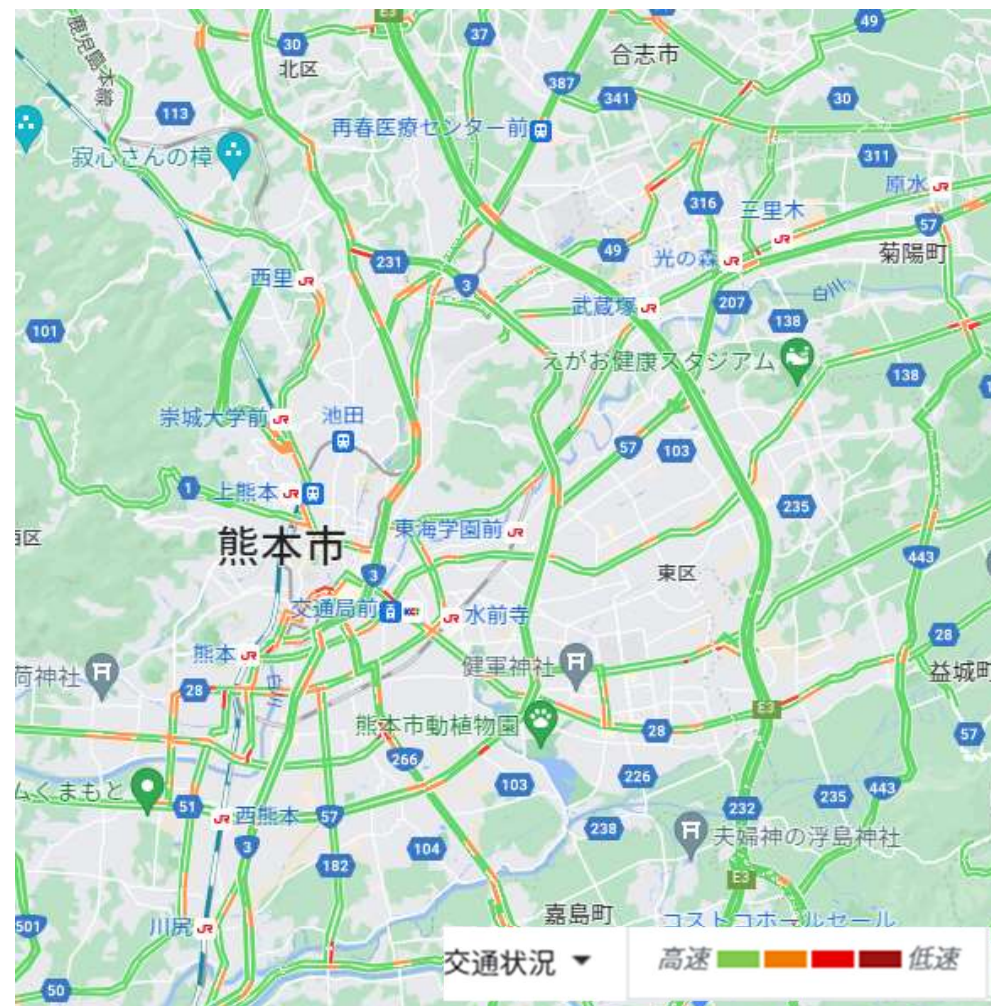
3/18(土)

バス・電車 無料の日

▲「バス・電車無料の日」



一般的な土曜 19:30頃



実施日 19:30頃